

人生の引き出しを見直す、50代からのライフスタイル誌「ドローワー」

大人世代の
+1 Living
[プラスワンリビング]

DRAWER

自分らしく、暮らしを楽しむ

私の好きな引き出し

堀井和子

土器典美

石川博子

「ツェツェ・アソシエ」の
アトリエと住まいを訪ねて

京都から香川へ
「モーネ工房」のこれから

石黒智子さんの暮らしを楽しむアイデア
ザ・コンランショップ、ロンドン本店の新しい魅力
銅版画家・中林忠良の世界



3

1: 桐箆笥の上に置かれたのは「四月の花器」。花材のセンスもカトリーヌさんらしく。2: ツェツェで販売していたインドの飾り棚の上には、フランスを代表するイラストレーター、ジャン・フィリップ・デロームのイラストも。東京の蚤の市で購入した扇子もお気に入り。3: 応接スペースのテーブル脇に4つも置かれたツェツェのライトスタンドからは、いい意味で“ぶつうじゃない”カトリーヌさんのアーティスト性を感じさせる。



2



5



6



4

4: 「ドレット」のジュエリーはすべて一点物で、カトリーヌさんによってデザインされている。ひとつでも存在感があるけれど、重ねづけも楽しめる。5: リングのほかブレスレット、イヤリングなども。6: 貴石、半貴石、色ガラスなどを組み合わせ、ブーケを束ねるようにデザインしていくカトリーヌさん。「小さい頃から貝殻や小石でアクセサリーをつくるのが大好きだったから、今もきっとその延長ね」とこまかい作業を黙々と続ける姿は、アクセサリーづくりが楽しくて仕方がない少女の姿そのまま。



Atelier Dorette

カトリーヌさんのアトリエ

Inspiration

ひらめきのもと

壁に飾っている、インドで見つけたクロールのお守り。カトリーヌさんのジュエリーデザインのひらめきのもとのひとつ。



集中&リラックス、
どちらも叶うアトリエで

「ドレット」は、ツエツエの仕事と並行しながら、数年前にカトリーヌさんが立ち上げたジュエリーブランドです。子どもの頃からアクセサリーづくりが大好きだったカトリーヌさんが、インドのお守りや現地の女性のアクセサリーにインスパイアされて制作を始めました。

華やかな「ドレット」のアクセサリーをデザインする場所は、小さいながらもツエツエ本家に負けない個性的なアトリエ。ここでも目をひくのは、デザイナーらしく創造性あふれるディスプレイです。

たくさんの鏡が迎えてくれる玄関から続く空間に、四隅からそびえるライトが照らすテーブル。壁ぎわに目をやれば、日本から持ち帰ったという桐筆筒をはじめ、世界各地でカトリーヌさんが「好き」と感じた厳選アイテムが、独自のセンスでミックスされ、コーナーごとに個性的なシーンを生み出しています。

「よい仕事をするには、よく休むことが大事」というカトリーヌさん。

道具がすぐにとり出せて、効率よく働けるインダストリアルな雰囲気の仕事場と、好きなものに囲まれてゆったり落ち着ける応接スペースでメリハリをつけ、コンパクトな空間でも、仕事の合間にリフレッシュしやすいような工夫をしています。



応接スペースは、壁一面にアンティークの鏡をコラージュ。大きな鏡や額絵を1枚掛けるよりカジュアルで、それぞれ置り方が違うところが味。風格が漂うどっしりとしたテーブルは、昔フランス銀行で使われていたもの。職場にふさわしい、まじめなたたずまいに銀行時代の面影が、